

「かごしまの米」



さつま町中津川での「あきの舞」種子の初収穫を見守る地元保育園児(令和6年10月)

令和7年3月

鹿児島県米・麦等対策協議会

目 次

かごしまの米づくり		1
本県水稻の作付地域		2
【主食用(早期栽培)】		
コシヒカリ		3
イクヒカリ		4
西南177号		5
なつほのか		6
峰の雪もち		7
【主食用(普通期栽培)】		
ヒノヒカリ		8
あきの舞		9
あきほなみ		10
さつま絹もち		11
さつま雪もち		12
さつま黒もち		13
【業務用・加工用(早期栽培)】		
とよめき		14
【業務用・加工用(普通期栽培)】		
あきのそら		15
彩南月		16
たからまさり		17
【飼料用(早期栽培)】		
くいつき		18
【飼料用(普通期栽培)】		
夢はやと		19

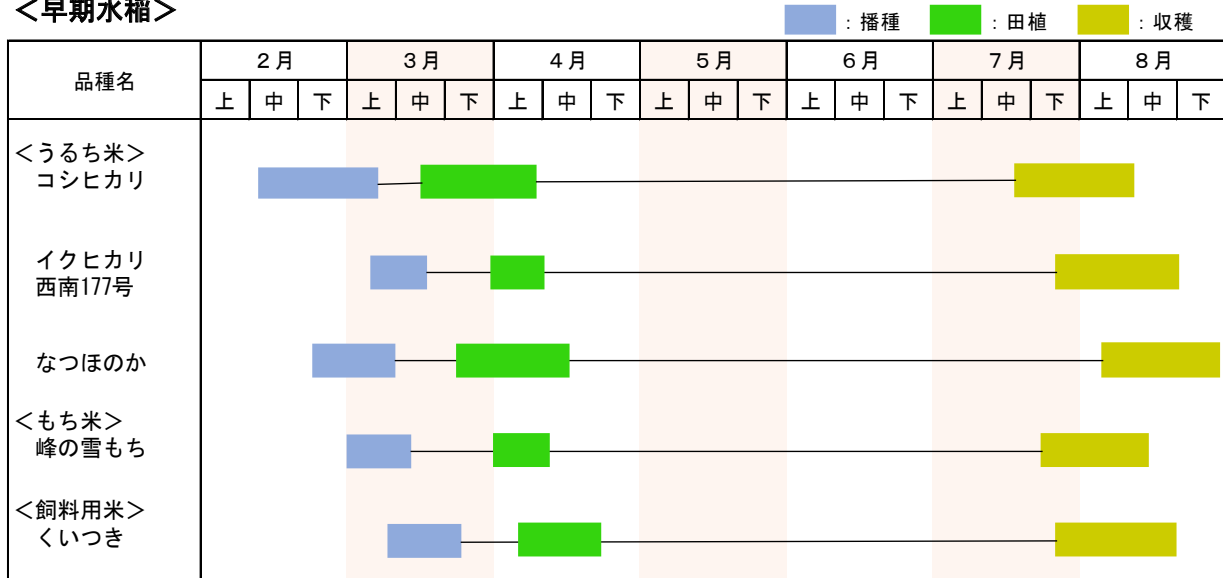
かごしまの米づくり

鹿児島県では、7月中旬頃から収穫する「早期水稻」と10月に収穫する「普通期水稻」があり、合わせて約1万7千1百ヘクタール(令和6年)が作付けされ、8万4百トン程度のお米が生産されています。

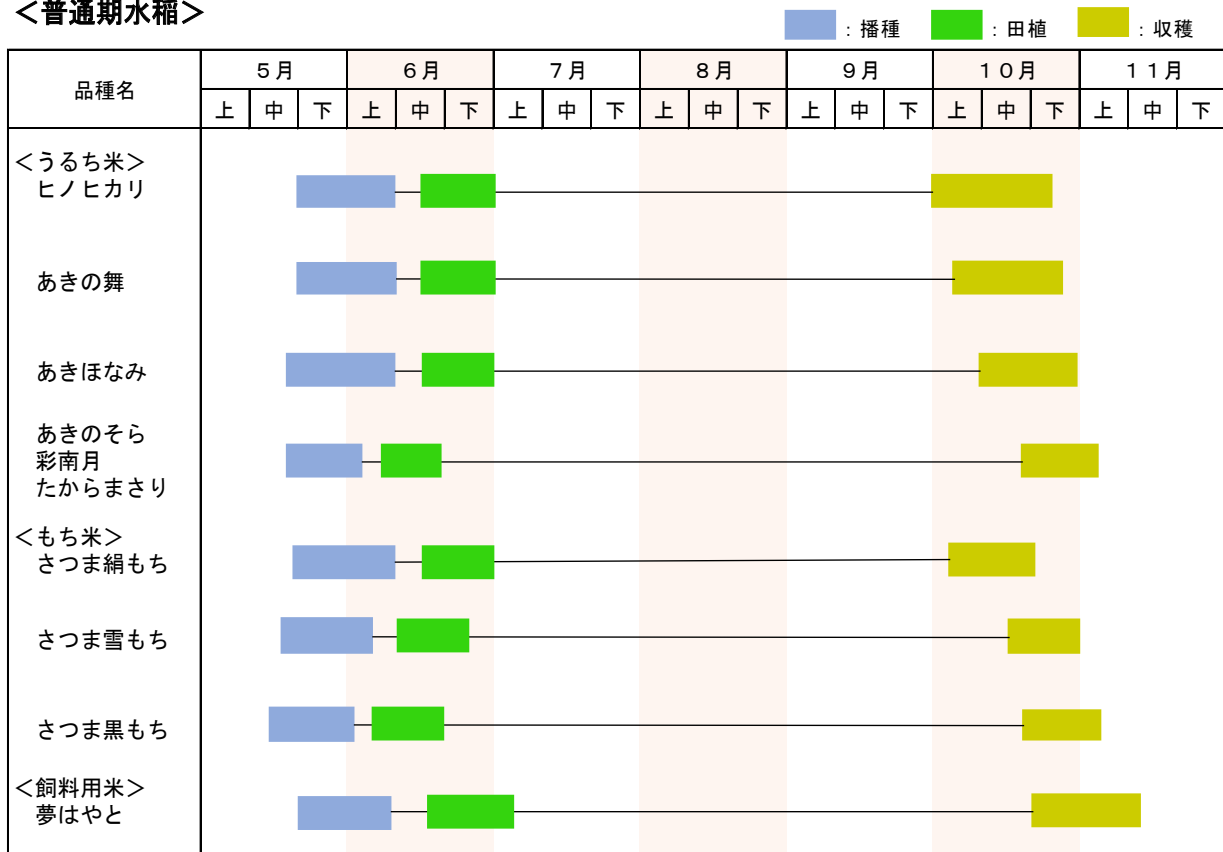
水稻を作付けしている農家の約4割が県内外に出荷・販売しています。

水稻の主要品種カレンダー

＜早期水稻＞



＜普通期水稻＞



本県水稻の作付地域

早期水稻

主要品種・系統

＜うるち米＞	＜もち米＞
・コシヒカリ	・峰の雪もち
・イクヒカリ	
・西南177号	
・なつほのか	＜飼料用米＞
・とよめき	・くいつき

・コシヒカリ

・イクヒカリ

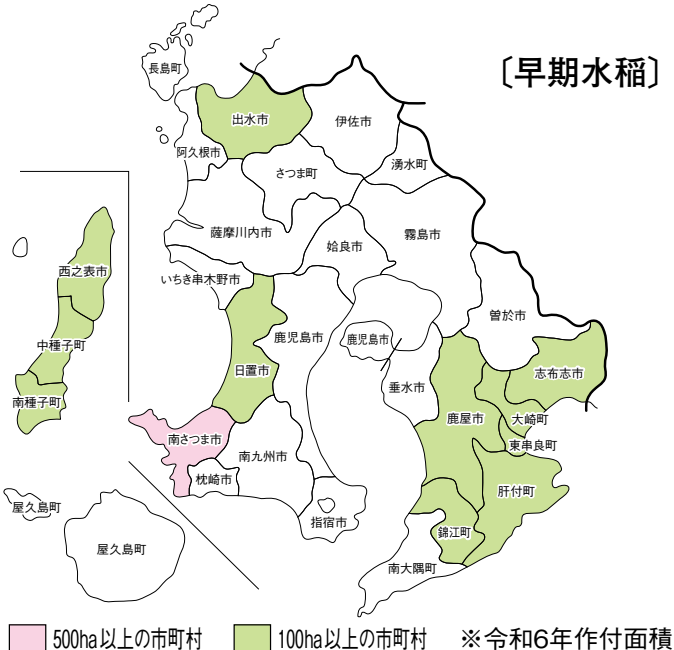
·西南177号

・なつほのか

・とよめき

・峰の雪もち

- ・くいつき



500ha以上の市町村 100ha以上の市町村 ※令和6年作付面積

普通期水稻

主要品種

＜うるち米＞	＜もち米＞
・ヒノヒカリ	・さつま絹もち
・あきの舞	・さつま雪もち
・あきほなみ	・さつま黒もち
・あきのそら	
・彩南月	＜飼料用米＞
・たからまさり	・夢はやと

・ヒノヒカリ

・あきの舞

- ・あきほなみ

- ・あきのそら

·彩南月

- ・たからまさし

References

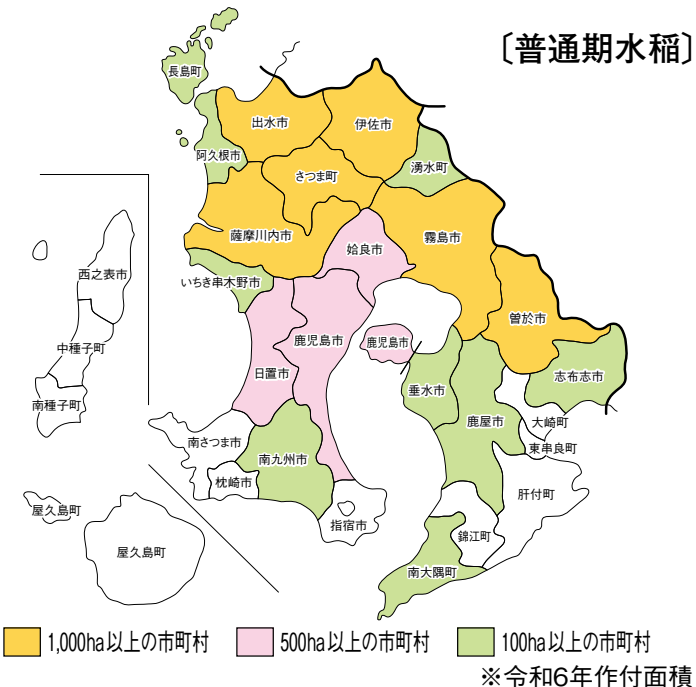
・さつま絹もち

- ・さつま雪もち

- ・さつま黒もち

- ・夢はやと

100



1,000ha以上の市町村
 500ha以上の市町村
 100ha以上の市町村

※令和6年作付面積

コシヒカリ

本県で最も早く収穫される超早場米品種

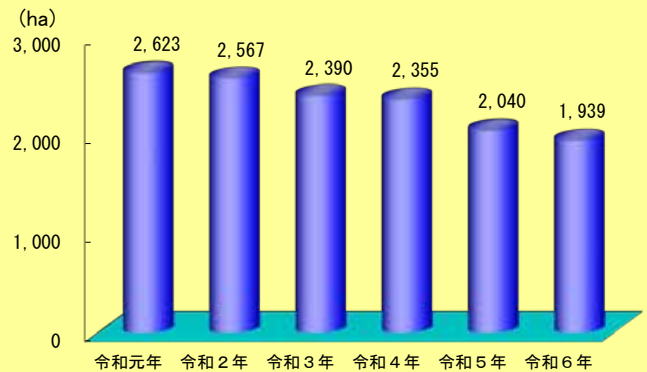
来歴

母：農林22号

父：農林1号

コシヒカリ

〔福井農試育成〕



「コシヒカリ」作付面積の推移

品種の特徴

- ★早期栽培用の良食味品種。
- ★耐冷性が強い。
- ★耐倒伏性が劣る。
- ★いもち病に弱い。



出穂期・成熟期および収量構成要素

	移植期 (月日)	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	玄米重 (kg/10a)	穂数 (本/㎡)	一穂粒数 (粒)	全粒数 (百粒/㎡)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)
コシヒカリ	4.1	6.19	7.23	478	500	64.3	325	63.1	19.7

注) 奨励品種決定調査における平成27～令和6年の平均値

生産の状況

- 昭和36年に奨励品種に選定(熊毛地域は昭和57年)。
- 本県の早期栽培面積の約50%を占める(令和6年産)。
- 早場米として、県外からの需要も高い。
- 日本で最も普及している品種。

主な産地

- 鹿児島地域：日置市
- 南薩地域：南さつま市
- 大隅地域：大崎町，錦江町，肝付町
- 熊毛地域：西之表市，中種子町，南種子町

イクヒカリ

冷めても粘りが強い早期栽培用品種

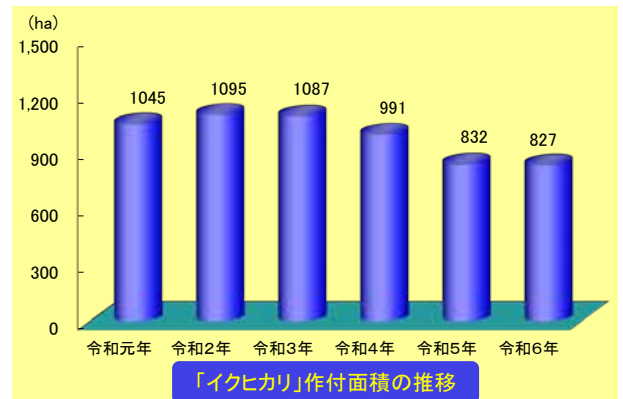
来歴

母: 越南148号

父: どんとこい

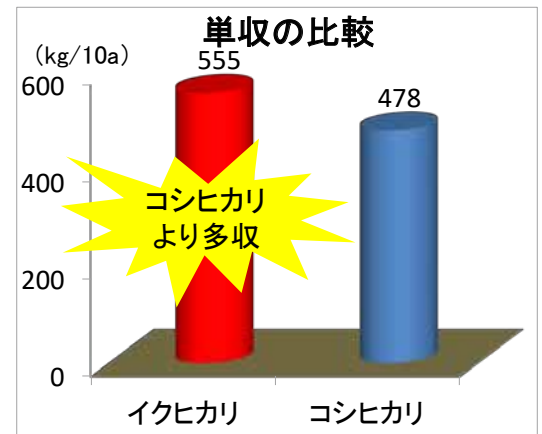
イクヒカリ

〔福井県農業試験場育成〕



品種の特徴

- ★早期栽培用の良食味品種。
- ★耐倒伏性が優れる(倒れにくい)。
- ★コシヒカリより10a当たりの収穫量が多い。
- ★耐冷性、高温登熟性がやや劣る。



出穂期・成熟期および収量構成要素

	移植期 (月日)	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	玄米重 (kg/10a)	穂数 (本/㎡)	一穂粒数 (粒)	全粒数 (百粒/㎡)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)
イクヒカリ	4.1	6.22	7.28	555	441	72.6	319	70.4	21.4
コシヒカリ(比較)	4.1	6.19	7.23	478	500	64.3	325	63.1	19.7

注) 奨励品種決定調査における平成27～令和6年の平均値

生産の状況

- 平成15年に奨励品種に選定。
- 10a当たりの収穫量が多く、いもち病に強いことから、大隅半島を中心に栽培。
- JAグループは、平成23年産から単一銘柄での販売を開始。

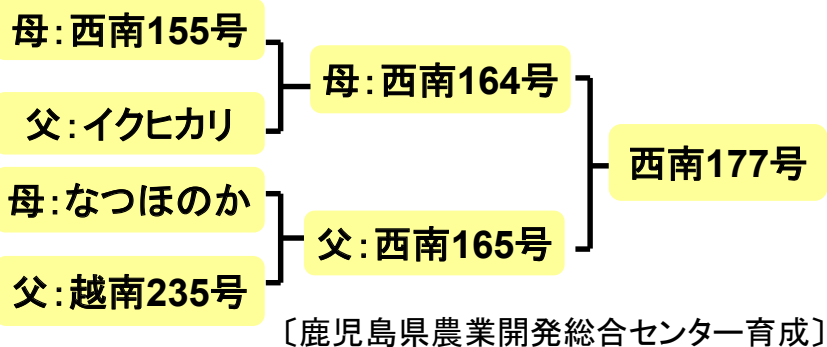
主な産地

- 大隅地域: 鹿屋市, 東串良町, 肝付町

西南177号

高温登熟性や収量に優れる早期栽培用品種

来歴



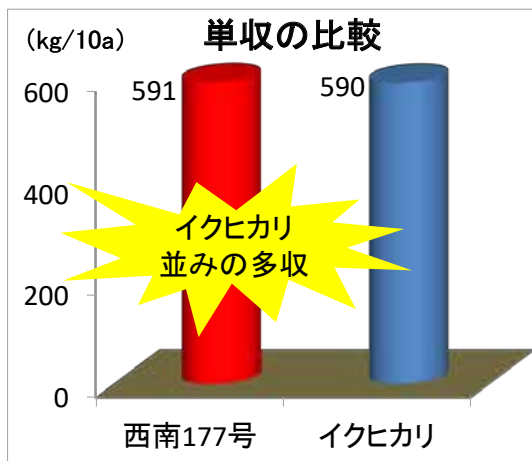
草姿(左から「コシヒカリ」「西南177号」「イクヒカリ」)



玄米の外観(左から「西南177号」「イクヒカリ」)

品種の特徴

- ★早期栽培用の中生品種。
- ★コシヒカリ、イクヒカリ並みの良食味。
- ★コシヒカリよりいもち病に強く、イクヒカリ並み(ほ場抵抗性遺伝子を有する)。
- ★高温登熟耐性が強く、高品質。
- ★収量はイクヒカリ並みの多収。



出穂期・成熟期および収量構成要素

	移植期 (月日)	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	玄米重 (kg/10a)	穂数 (本/㎡)	一穂粒数 (粒)	全粒数 (百粒/㎡)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)
西南177号	3.30	6.20	7.24	591	467	71.9	324	55.3	20.5
イクヒカリ(比較)	3.30	6.20	7.24	590	509	76.6	382	56.1	20.8

注) 西南177号について、「一穂粒数」「全粒数」「登熟歩合」は、奨励品種決定調査における令和5～6年の平均値、他の項目は令和4～6年の平均値

注) イクヒカリについては、奨励品種決定調査における令和4～6年の平均値

生産の状況

- 令和7年に奨励品種に選定。
- コシヒカリやなつほのかとは異なる熟期で、作期分散が可能。
- 品質等が高まり所得向上につながる。
- イクヒカリの代替品種として、令和9年産から一般栽培開始予定。

なつほのか

多収・高品質・極良食味の早期用晩生品種

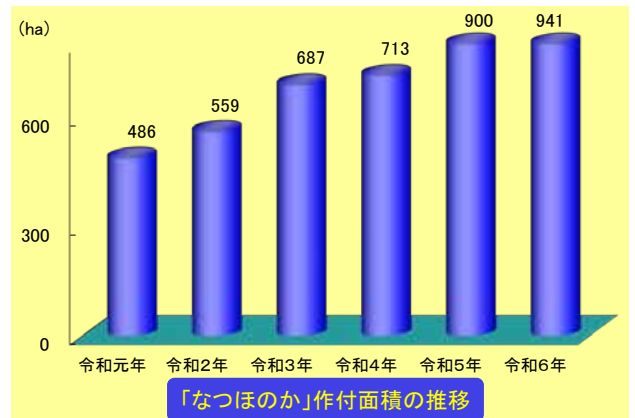
来歴

母：西南115号

父：西海250号
(にこまる)

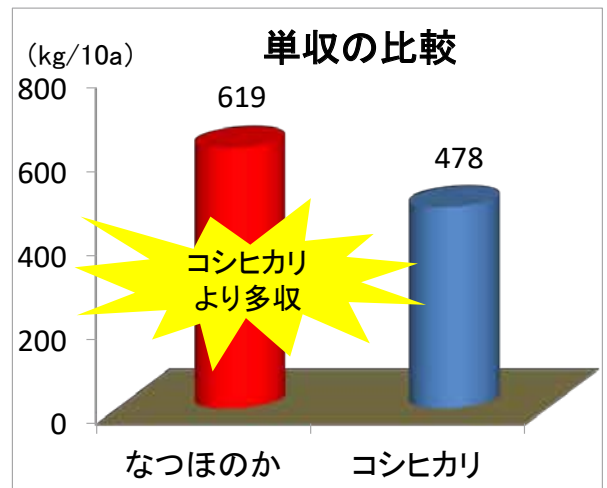
なつほのか
(西南136号)

〔鹿児島県農業開発総合センター育成〕



品種の特徴

- ★コシヒカリ・イクヒカリより10a当たりの収穫量が多い。
- ★高温登熟性に優れ，高品質。
- ★タンパク含有率が低く，極良食味。
- ★いもち病抵抗性はやや弱。
- ★成熟期はコシヒカリより約12日遅い晩生。



出穂期・成熟期および収量構成要素

	移植期 (月日)	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	玄米重 (kg/10a)	穂数 (本/m ²)	一穂粒数 (粒)	全粒数 (百粒/m ²)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)
なつほのか	4.1	6.30	8.5	619	479	64.3	309	73.4	22.5
コシヒカリ(比較)	4.1	6.19	7.23	478	500	64.3	325	63.1	19.7

注) なつほのかの「一穂粒数」「全粒数」「登熟歩合」は，奨励品種決定調査における平成26年，令和元～2年の平均値，他の項目は奨励品種決定調査における平成27～令和6年の平均値

注) コシヒカリは，奨励品種決定調査における平成27～令和6年の平均値

生産の状況

- 平成31年に奨励品種に選定。
- 早期水稻の多収・良食味米として近年生産が拡大。
- 晩生品種であるため，大規模農家の作期分散等に利用可能。

主な産地

- 大隅地域：志布志市，東串良町，肝付町
- 南薩地域：南さつま市
- 北薩地域：出水市

峰の雪もち

早期栽培用糯品種

来歴

母：奥羽302号

峰の雪もち

父：ヒメノモチ

〔中央農研北陸研究センター育成〕



左：コシヒカリ 右：峰の雪もち

品種の特徴

- ★コシヒカリと同熟期の糯品種。
- ★短稈で、耐倒伏性に優れる。
- ★色が白く、良質もち。
- ★もちの硬化速度は速い。
- ★ふ先色がない。

出穂期・成熟期および収量構成要素

	移植期 (月日)	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	玄米重 (kg/10a)	穂数 (本/㎡)	一穂粒数 (粒)	全粒数 (百粒/㎡)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)
峰の雪もち	4.1	6.24	7.27	501	387	63.6	314	95.6	22.8

注)「一穂粒数」「全粒数」「登熟歩合」は、奨励品種決定調査における平成6年の値、他の項目は平成23～27年の平均値

生産の状況

- 平成6年に奨励品種に選定。
- 主に自家消費用のもち米として早期水稻地帯で生産。
- 色が白く、もち質が良いことから、包装切りもちなど業務用 への需要拡大に期待。

主な産地

- 南薩地域：枕崎市，南さつま市
- 大隅地域：大崎町，錦江町，南大隅町

ヒノヒカリ

本県水稻の主力品種

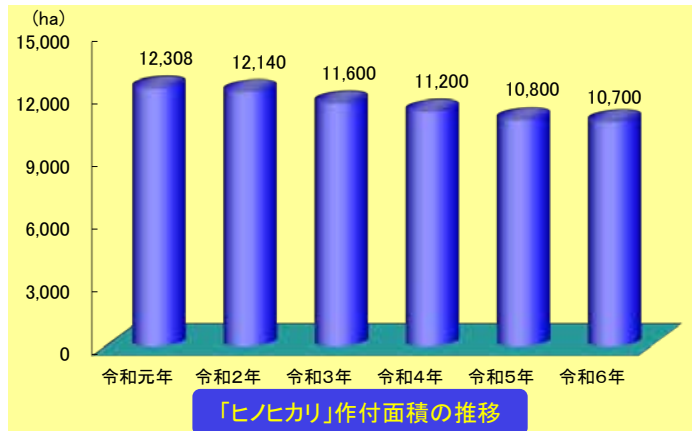
来歴

母：愛知40号

父：コシヒカリ

ヒノヒカリ

〔宮崎総合農試育成〕



品種の特徴

- ★普通期栽培用の早生品種。
- ★粘りが強く、極良食味。
- ★耐倒伏性及びいもち病耐病性に劣る。
- ★高温登熟性が劣る。



出穂期・成熟期および収量構成要素

	移植期 (月日)	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	玄米重 (kg/10a)	穂数 (本/㎡)	一穂粒数 (粒)	全粒数 (百粒/㎡)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)
ヒノヒカリ	6.18	8.20	9.30	538	389	84.6	346	63.0	21.5

注) 奨励品種決定調査における平成27～令和6年の平均値

生産の状況

- 平成元年に奨励品種に選定。
- 本県の普通期栽培面積の約81%を占める(令和6年産)。
- 九州で最も多く生産されている品種。

主な産地

- 鹿児島地域：鹿児島市，日置市
- 北薩地域：薩摩川内市，さつま町，出水市
- 始良・伊佐地域：伊佐市，霧島市，始良市
- 大隅地域：曾於市

あきの舞

高温登熟性に優れる多収・良食味品種

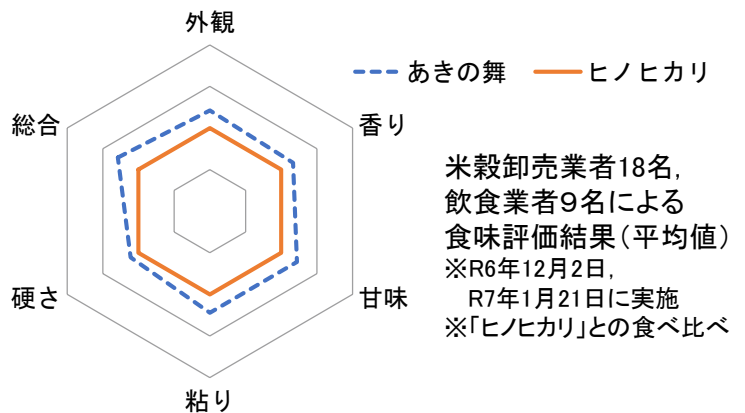
来歴

母：西南136号
(なつほのか)

父：関東263号

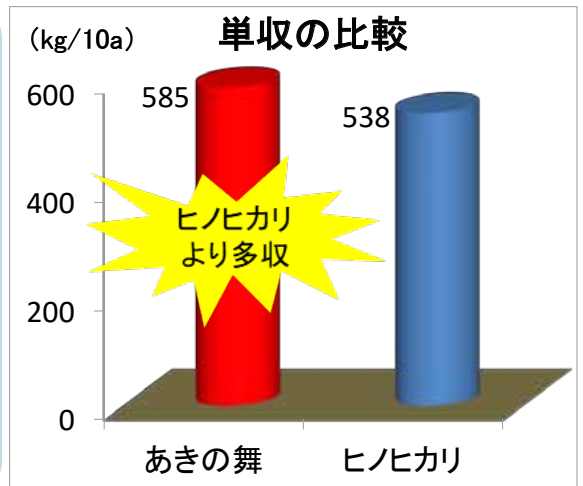
あきの舞

〔鹿児島県農業開発総合センター育成〕



品種の特徴

- ★普通期栽培用の早生～中生品種。
- ★いもち病抵抗性はヒノヒカリより強い。
- ★高温登熟性に優れ、高品質。
- ★千粒重はやや重く、収量はヒノヒカリより約10%多い。
- ★トビイロウンカ抵抗性遺伝子を有する。
- ★ヒノヒカリ並みの極良食味。



出穂期・成熟期および収量構成要素

	移植期 (月日)	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	玄米重 (kg/10a)	穂数 (本/m ²)	一穂粒数 (粒)	全粒数 (百粒/m ²)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)
あきの舞	6.18	8.22	10.4	585	374	92.5	339	63.9	22.9
ヒノヒカリ(比較)	6.18	8.20	9.30	538	389	84.6	346	63.0	21.5

注) あきの舞について、「一穂粒数」「全粒数」「登熟歩合」は、奨励品種決定調査における令和2～4年の平均値、他の項目は令和元～6年の平均値

注) ヒノヒカリについては、奨励品種決定調査における平成27～令和6年の平均値

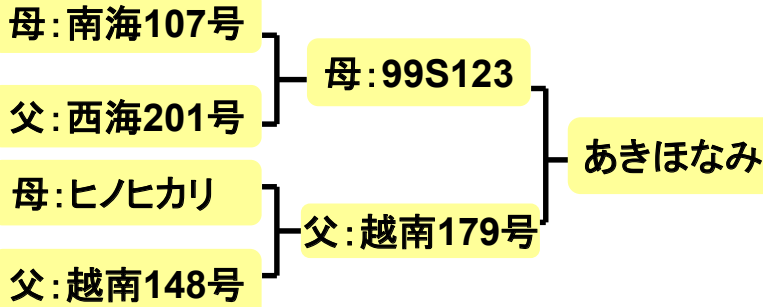
生産の状況

- 令和5年に奨励品種に選定。
- 異なる熟期で作期分散が可能。
- 品質・収量が高まり所得向上につながる。
- ヒノヒカリの代替品種として、令和7年産から一般栽培開始。

あきほなみ

大粒で粘りが強く、極良食味

来歴

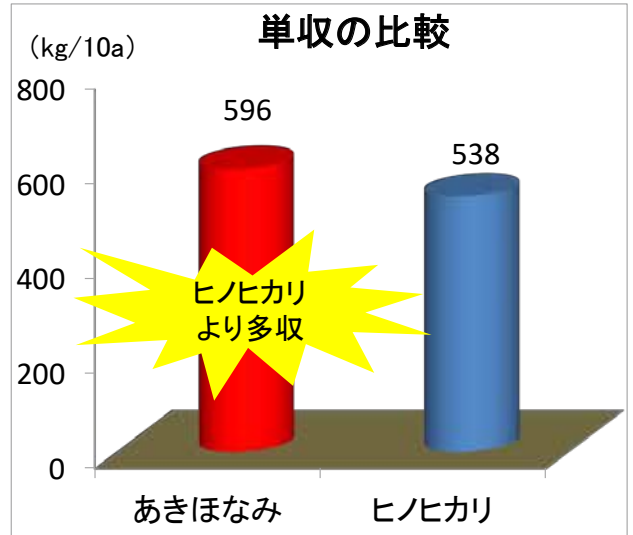


〔鹿児島県農業開発総合センター育成〕



品種の特徴

- ★普通期栽培用の中晩生品種。
- ★粘りが強く、極良食味。
- ★粒が大きく、収穫量が多い。
- ★いもち病に強い(真性抵抗性遺伝子を持つ)。
- ★中晩生の熟期で、登熟期の高温障害を回避できる品種。



出穂期・成熟期および収量構成要素

	移植期 (月日)	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	玄米重 (kg/10a)	穂数 (本/㎡)	一穂粒数 (粒)	全粒数 (百粒/㎡)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)
あきほなみ	6.18	9.1	10.14	596	398	69.7	285	81.2	24.1
ヒノヒカリ(比較)	6.18	8.20	9.30	538	389	84.6	346	63.0	21.5

注) あきほなみについて、「一穂粒数」「全粒数」「登熟歩合」は、奨励品種決定調査における平成19年、27～28年の平均値、他の項目は平成27～令和6年の平均値

注) ヒノヒカリについては、奨励品種決定調査における平成27～令和6年の平均値

生産の状況

- 平成19年に奨励品種に選定。
- 県民米としての定着に向け、栽培面積、消費拡大を推進。
- 米の食味ランキングで、最高評価の「特A」を10回獲得

主な産地

- 北薩地域:
出水市, 薩摩川内市, さつま町
- 始良・伊佐地域:
霧島市, 伊佐市, 始良市, 湧水町

さつま絹もち

もちの硬化速度が速い中生糯品種

来歴

母: サイワイモチ

父: 02交母55
(さつま雪もち由来)

さつま絹もち

〔鹿児島県農業開発総合センター育成〕

品種の特徴

- ★普通期栽培用の中生品種。
- ★もちの硬化速度が速い。
- ★もちのきめが細かく、白い。
- ★いもち病に強い(真性抵抗性遺伝子を持つ)。



出穂期・成熟期および収量構成要素

	移植期 (月日)	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	玄米重 (kg/10a)	穂数 (本/m ²)	一穂粒数 (粒)	全粒数 (百粒/m ²)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)
さつま絹もち	6.18	8.29	10.9	551	377	82.5	327	83.8	20.3

注)「一穂粒数」「全粒数」「登熟歩合」は、奨励品種決定調査における平成21～22年の2力年平均値, 他の項目は平成22, 24～27年の平均値

生産の状況

- 平成23年に奨励品種に選定。
- 「ヒノヒカリ」と熟期が近く、自家消費用としての栽培が主。

利用

きめが細かく、色が白い。また、「さつま雪もち」に比べ、硬化速度が速いため、包装用切りもちなど整形もちでの利用に適する。(実需者の意見)

さつま雪もち

もちの硬化速度が遅く、冷めても軟らかい糯品種

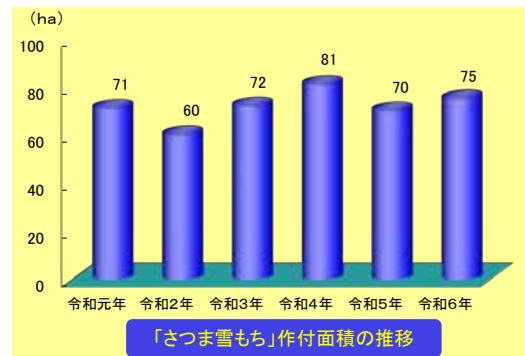
来歴

母：峰の雪もち

父：さつま白もち
(KG糯102号)

さつま雪もち

〔鹿児島県農業開発総合センター育成〕



品種の特徴

- ★普通期栽培用の晩生品種。
- ★耐倒伏性に優れ、いもち病に強い。
- ★もちのきめが細かく、白い。
- ★もちの硬化速度が遅く、冷めても軟らかい。



22時間冷蔵庫に保管したあとの伸び餅

出穂期・成熟期および収量構成要素

	移植期 (月日)	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	玄米重 (kg/10a)	穂数 (本/㎡)	一穂粒数 (粒)	全粒数 (百粒/㎡)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)
さつま雪もち	6.18	9.11	10.25	570	357	93.1	425	66.4	21.1

注)「一穂粒数」「全粒数」「登熟歩合」は、奨励品種決定調査における平成17年の値、他の項目は平成22、24～27年の平均値

生産の状況

- 平成17年に奨励品種に選定。
- 契約栽培により、一部の卸や量販店で販売。

主な産地

- 北薩地域：
出水市，薩摩川内市，さつま町
- 始良・伊佐地域：
伊佐市

利用

硬くなりにくいいため、加糖割合の少ない「もち菓子」に利用すると、製造時の品質が長持ちする。
(実需者の意見)

さつま黒もち

中国由来の紫黒米糯品種

来歴

母: KG糯232
(さつま雪もち兄弟系統)

父: 関東糯182号

さつま黒もち

〔鹿児島県農業開発総合センター育成〕



左: さつま黒もち 右: さつま雪もち

品種の特徴

- ★普通期栽培用の極晩生品種。
- ★日本型の短粒種。
- ★玄米にアントシアニン(ポリフェノール的一种)を含む。
- ★耐倒伏性に優れ, 収穫量が多い。

出穂期・成熟期および収量構成要素

	移植期 (月日)	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	玄米重 (kg/10a)	穂数 (本/㎡)	一穂粒数 (粒)	全粒数 (百粒/㎡)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)
さつま黒もち	6.11	9.13	10.27	478	246	106.8	261	75.4	22.4

注)「一穂粒数」「全粒数」「登熟歩合」は, 加工用途米に関する試験における平成20年の値, 他の項目は, 加工用途米に関する試験における平成20~24年の平均値

生産の状況

- 平成20年に適品種に選定。
- 一部の卸で商品化しており, 契約栽培による生産が主。

主な産地

- 鹿児島地域:
日置市
- 始良・伊佐地域:
伊佐市, 始良市

利用

健康志向の高まりから, ポリフェノールの抗酸化作用を生かした需要あり。

とよめき

【業務用・加工用】早期栽培用多収品種

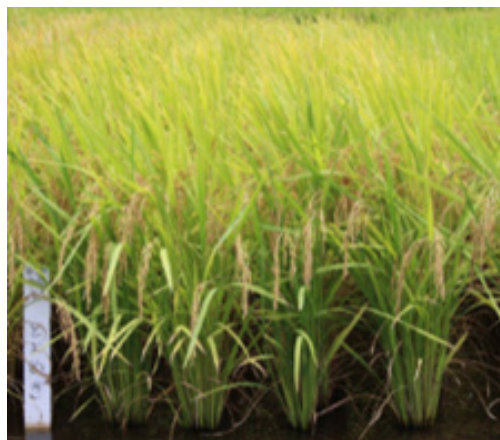
来歴

母：イクヒカリ

父：和1289
(やまだわら)

〔農研機構育成〕

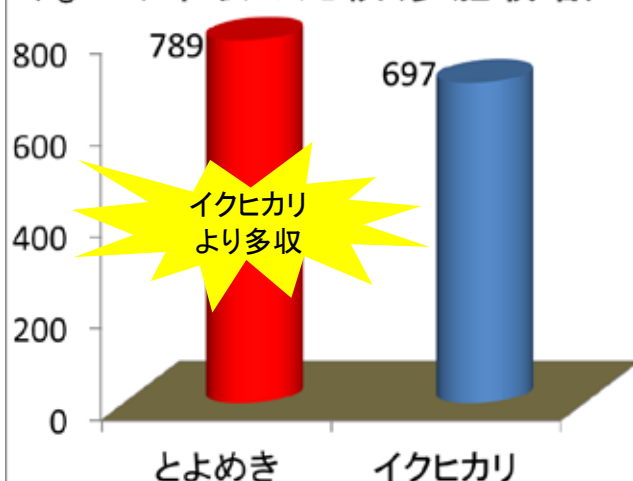
とよめき



品種の特徴

- ★コシヒカリ・イクヒカリより10a当たりの収穫量が多い。
- ★成熟期はイクヒカリより約8日遅い晩生。
- ★いもち病真性抵抗性遺伝子を有する。
- ★感受性のある除草剤(ベンゾビシクロン, テフリトリオン, メトリオンを含む剤)は使用しない。

(kg/10a) 単収の比較(多肥栽培)



出穂期・成熟期および収量構成要素

	移植期 (月日)	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	玄米重 (kg/10a)	穂数 (本/m ²)	一穂粒数 (粒)	全粒数 (百粒/m ²)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)
とよめき	4.7	6.30	8.9	789	469	95.0	443	64.2	21.7
イクヒカリ(比較)	4.7	6.24	8.2	697	491	76.1	374	63.1	21.2

注)とよめき, イクヒカリとも奨励品種決定調査における平成28~30年の平均値(多肥栽培)

生産の状況

- 平成29年に適品種に選定。
- 多収性を活かして, 主に業務用米や加工用米として栽培されている。
- 晩生品種であるため, 大規模農家の作期分散等に利用可能。

あきのそら

【業務用】普通期栽培用の晩生・多収品種

来歴

母:KG146号

父:西南115号

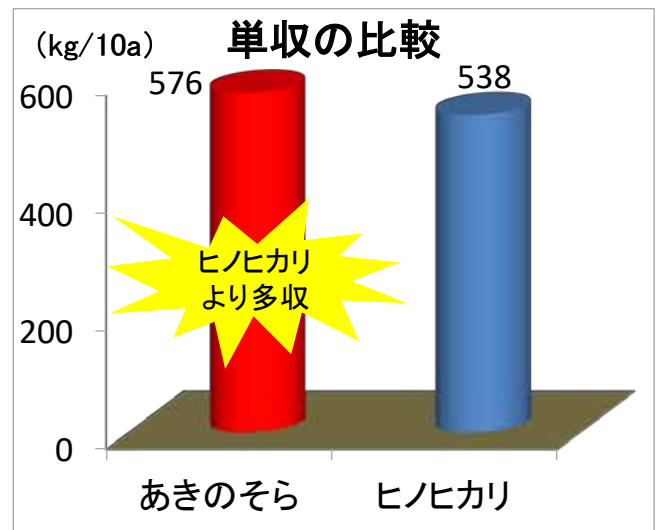
あきのそら

〔鹿児島県農業開発総合センター育成〕



品種の特徴

- ★普通期栽培用の晩生品種。
- ★玄米外観品質が優れる。
- ★10a当たりの収穫量が多い。
- ★短稈で、耐倒伏性に優れる。
- ★いもち病真性抵抗性遺伝子を有する。



出穂期・成熟期および収量構成要素

	移植期 (月日)	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	玄米重 (kg/10a)	穂数 (本/㎡)	一穂粒数 (粒)	全粒数 (百粒/㎡)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)
あきのそら	6.18	9.7	10.22	576	445	84.0	331	73.5	21.6
ヒノヒカリ(比較)	6.18	8.20	9.30	538	389	84.6	346	63.0	21.5

注)あきのそらについて、「一穂粒数」「全粒数」「登熟歩合」は、奨励品種決定調査における平成25～26年の平均値、他の項目は平成26～27, 平成29～令和6年の平均値

注)ヒノヒカリについては、奨励品種決定調査における平成27～令和6年の平均値

生産の状況

- 平成27年に奨励品種に選定。
- 晩生品種であるため、大規模農家の作期分散に利用可能。

主な産地

- 北薩地域: 薩摩川内市
- 始良・伊佐地域: 霧島市, 始良市

彩南月(あやなつき)

【業務・加工用】普通期栽培用の低アミロース品種

来歴

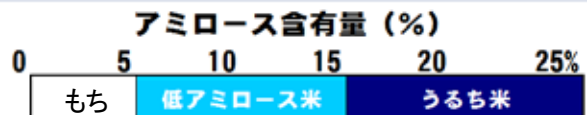
母: 彩

彩南月

父: KG36

〔鹿児島県農業開発総合センター育成〕

注) 低アミロース米とは、一般のうるち米に比べ、アミロース含有量が少ない米。粘りが強いことが特徴。



品種の特徴

- ★ 普通期栽培用の低アミロース米品種。
- ★ 晩生・多収で、倒伏に強く、栽培しやすい。
- ★ ブレンドすることにより、炊飯米の外観がよくなり、粘りも増すことから、食味を向上させる効果がある。
- ★ おこわ、あくまき、和菓子など加工品原料としても利用されている。

出穂期・成熟期および収量構成要素

	移植期	出穂期	成熟期	玄米重	穂数	一穂粒数	全粒数	登熟歩合	千粒重
	(月日)	(月日)	(月日)	(kg/10a)	(本/m ²)	(粒)	(百粒/m ²)	(%)	(g)
彩南月	6.18	9.4	10.19	538	438	71.2	324	84.3	21.7

注) 「一穂粒数」「全粒数」「登熟歩合」は、低アミロース米に関する試験における平成14、15年の平均値、他の項目は平成24～29年、令和4～6年の平均値

生産の状況

- 平成16年に適品種に選定。

主な産地

- 北薩地域: 伊佐市

利用

低アミロース米の特徴であるしっとりとした食感を活かして、かるかん原料に使用。



左から、彩南月、はなさつま、柔小町
〔白濁が少ない「柔小町」よりも白濁しないため、うるち米とのブレンドに利用しやすい。〕

たからまさり

【加工用】普通期栽培用の高アミロース品種

来歴

母:06S33

たからまさり

父:ホシユタカ

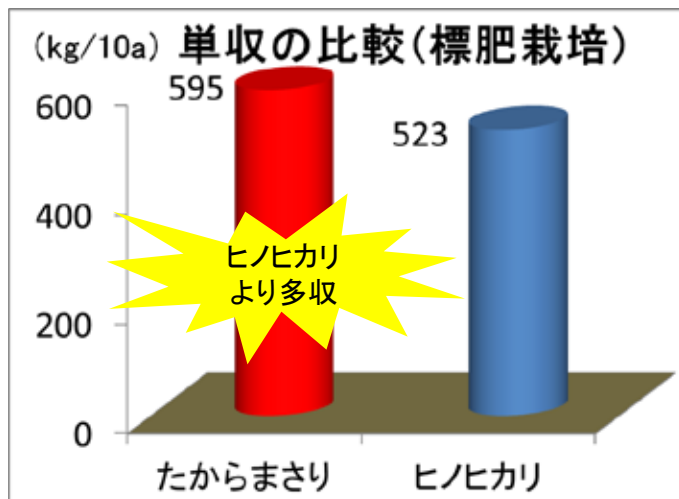
〔鹿児島県農業開発総合センター育成〕



製麴時の比較(蒸し米がべたつかない)

品種の特徴

- ★ヒノヒカリより10a当たりの収穫量が多い。
- ★高アミロースで、粘りが少なく、べたつかないことから焼酎麴用米などに適する。
- ★いもち病に強い。
- ★成熟期はヒノヒカリより約20日遅い晩生。



出穂期・成熟期および収量構成要素

	施肥量	移植期 (月日)	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	玄米重 (kg/10a)	穂数 (本/㎡)	一穂粒数 (粒)	全粒数 (百粒/㎡)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)
たからまさり	標肥	6.17	9.6	10.21	595	296	102.5	305	79.6	23.7
	多肥	6.16	9.6	10.24	703	333	-	-	-	24.2
ヒノヒカリ(比較)	標肥	6.17	8.19	9.30	523	400	82.4	330	72.7	22.0
	多肥	6.16	8.20	9.27	537	426	-	-	-	22.9

注) 標肥栽培は平成27～29年の平均値, 多肥栽培は平成29年の値

生産の状況

- 平成29年に適品種に選定。
- 焼酎麴用等の加工用米や米粉用米として有望。
- 晩生品種であるため、大型農家の作期分散等に利用可能。

主な産地

- 北薩地域:
薩摩川内市
- 始良・伊佐地域:
霧島市

くいつき

【飼料用】早期栽培用多収品種

来歴

母：ふ系226号

くいつき

父：なつほのか

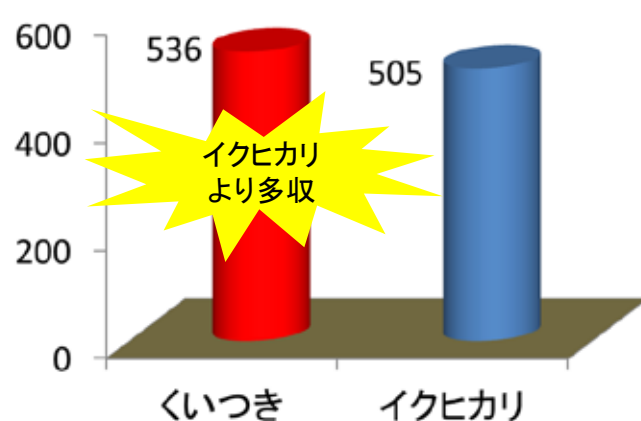
〔鹿児島県農業開発総合センター育成〕



品種の特徴

- ★コシヒカリ、イクヒカリより10a当たりの収穫量が多い。
- ★高温登熟性に優れる。
- ★成熟期はイクヒカリと同程度の晩生。
- ★いもち病真性抵抗性遺伝子を有する。

(kg/10a) 単収の比較(標肥栽培)



出穂期・成熟期および収量構成要素

	施肥量	移植期 (月日)	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	玄米重 (kg/10a)	穂数 (本/m ²)	一穂粒数 (粒)	全粒数 (百粒/m ²)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)
くいつき	標肥	4.3	6.25	7.31	536	396	-	-	-	23.5
	多肥	4.6	6.27	8.5	732	503	68.5	345	71.9	23.2
イクヒカリ(比較)	標肥	4.3	6.24	7.30	505	385	-	-	-	21.8
	多肥	4.6	6.25	8.4	698	500	78.2	391	60.4	21.3

注) 標肥栽培は平成27～29年の平均値, 多肥栽培は平成28～29年の平均値

生産の状況

- 平成29年に適品種に選定。
- 収量性が高く, いもち病に強いことから飼料用米品種として有望。
- 平成29年に飼料用米の多収品種(知事特認)に認定。

夢はやと

【飼料用】普通期栽培用多収品種

来歴

母:ミズホ

夢はやと

父:ひとめぼれ

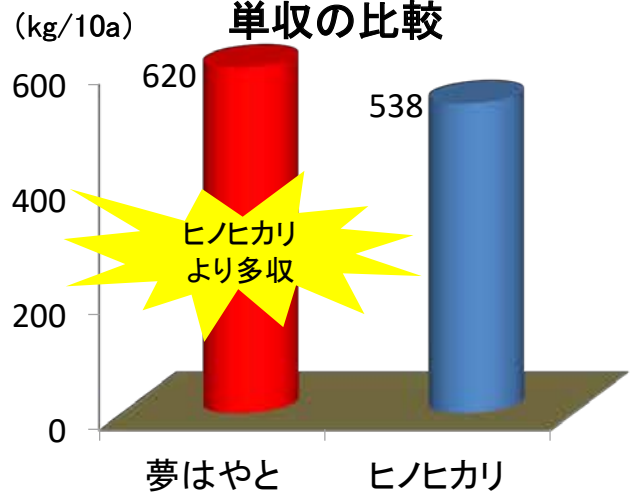
〔鹿児島県農業開発総合センター育成〕



品種の特徴

- ★ヒノヒカリより、10a当たりの収穫量が多い。
- ★耐倒伏性に優れる。
- ★いもち病真性抵抗性遺伝子を有する。
- ★成熟期はヒノヒカリより約20日遅い晩生。

単収の比較



出穂期・成熟期および収量構成要素

	移植期 (月日)	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	玄米重 (kg/10a)	穂数 (本/m ²)	一穂粒数 (粒)	全粒数 (百粒/m ²)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)
夢はやと	6.18	9.8	10.21	620	380	84.3	443	44.3	22.7
ヒノヒカリ(比較)	6.18	8.20	9.30	538	389	84.6	346	63.0	21.5

注) 夢はやとについて、「一穂粒数」「全粒数」「登熟歩合」は、奨励品種決定調査における平成17年の値、他の項目は平成24～27年、平成29年の平均値

注) ヒノヒカリについては、奨励品種決定調査における平成27～令和6年の平均値

生産の状況

- 平成27年に適品種に選定。
- 平成27年に飼料用米の多収品種(知事特認)に認定。
- 平成28年から飼料用米として作付けを推進。

